

2021年4月5日  
株式会社 山梨中央銀行

ESG 地域金融の取組みについて  
～「地域経済循環創造事業交付金」を活用した地域活性化への取組み～

株式会社山梨中央銀行（頭取 関 光良）は、笛吹市（市長 山下 政樹）と連携し、有限会社フィッシュランドイシハラ（代表取締役社長 石原 弘基）に対して、総務省の「地域経済循環創造事業交付金」（※1）を活用した取組みのサポートを行い、ESG 地域金融（※2）として融資を実行しました。

4月3日（土）に本事業対象のホテル併設型サロンでオープニングセレモニーが開催されました。

当行は「山梨中央銀行グループ SDGs 宣言」のもと、ESG 地域金融の取組み等を通じて、地域課題の解決、持続可能な地域社会の実現に取り組んでまいります。

記

1. 事業の概要

事業者名	有限会社フィッシュランドイシハラ
代表者	代表取締役社長 石原 弘基
事業名	石和温泉街利用の犬連れ観光客・宿泊客をメインターゲットにしたホテル併設型サロンの出店事業
事業概要	新型コロナウイルス感染症により大きな打撃を受けている石和温泉街を盛り上げるため、有限会社フィッシュランドイシハラは、ペットツーリズムの増加に鑑みて石和温泉街にホテル併設型サロンを出店し、石和観光協会、石和温泉郷旅館組合等と連携する中で石和温泉街への宿泊客増加を目指しています。
助成金額	15,000 千円（総務省 7,500 千円、笛吹市 7,500 千円）
融資額	15,000 千円

2. オープニングセレモニー



左から河野理事長（石和温泉旅館協同組合）、関頭取、石原社長、山下市長、山下会長（石和温泉観光協会）、長野店長（Ishihara Dog Salon Lien）

※1 地域経済循環創造事業交付金とは

地域の資源と資金を活用して、雇用吸収力の大きい地域密着型事業を 10,000 事業程度立ち上げる総務省のプロジェクト「ローカル 10,000 プロジェクト」の推進を支援する制度です。民間事業者が地域活性化に資する事業を立ち上げる際の初期投資費用について、地域金融機関の融資を条件に、総務省および地方公共団体が助成するものです。

本事業は山梨県内では 3 事業目の採択ですが、国（総務省）だけではなく地方公共団体（笛吹市）からも同時に助成されるのは、山梨県内では初めてです。

※2 ESG 地域金融とは

地域金融機関が地域の核となり、地域の持続可能性の向上に資するための資金供給を行うことをいいます。

パリ協定や持続可能な開発目標（SDGs）などを背景として、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）を考慮した資金の流れが世界的にかつ急速に広がっています。

こうした中、国内においても、民間資金を導入した環境課題と経済・社会的課題の同時解決に向けた取組みを広めていかなければなりません。地域金融機関にはこうした資金供給の実践が期待されています。

本事業は地域の持続可能性の向上に資するもので、当行の目指す ESG 地域金融の考え方に合致します。

以 上